

中東の特許情報

中根 寿浩*

本稿では、中東湾岸諸国、特にGCC（湾岸協力会議：Gulf Cooperation Council）およびその加盟国（サウジアラビア、UAE、バーレーン、カタール、クウェート、オマーン）とイランの各国特許制度および特許出願状況、特許調査環境（特許情報へのアクセス性）についてその概要を整理している。GCCを除き、各国の特許情報へのアクセス性は非常に悪く、特許調査を行うための環境は整備されていない状況に等しいと言えるが、その中でも、特許情報にアクセスするために現状利用することができるWebサイト等について紹介している。また、GCCについては、これまでに発行された全登録特許を対象に権利者や技術分野の傾向について整理している。

キーワード：中東、GCC、サウジアラビア、UAE、イラン、特許情報、特許検索、特許調査、データベース

1. はじめに

中東湾岸諸国では、豊富な石油・天然ガス資源をもとに、経済が急速に成長している。GCC（湾岸協力会議：Gulf Cooperation Council）は制度的な枠組みの中で湾岸諸国が協力し、相互に競争力を高め、より大きな地域経済統合を目指して1981年に設立された。日本にとって中東湾岸諸国は、最大の原油供給国としてエネルギー政策および経済面で重要な位置を占めており、重要なエネルギー供給源としてのみならず、経済パートナーとして、輸出、投資、技術移転などで多角的に緊密な関係を築いていくことが求められている。

また、中東湾岸諸国には中国などからの模倣品流入によって中東経由でアフリカ、中央アジア、欧州へと模倣品が拡散する懸念が集まっており、知的財産制度の整備状況やその運用状況の実情を把握することが求められている。

一方で、こうした中東湾岸諸国における種々の有用な情報を取得することは簡単ではない。近年、中東湾岸諸国に目を向ける日本企業も多くなってきており、これらの国における特許調査（特許情報へのアクセス）の重要性はますます増大している。しかしながら、中東湾岸諸国に関しては商用のデータベース等を駆使しても思ったように特許情報の収集ができない状況である。

本稿は、このような中東湾岸諸国における特許情報へのアクセス性について、その整備状況を整理し、併せて各国の特許制度の概要や特許出願の状況を明らかにするものである。GCCについては、現在（2014年9月30日発行分）までに発行されている全GCC登録特許を対象に、権利者や技術内容の傾向についても分析を行っている。

2. 各国特許情報概要

本章では中東特許情報の概要としてGCCとその加盟国、およびイランについて、各国特許制度や各国特許出願状況、特許調査環境を解説する。

各国特許制度の概要および特許調査可否について表1にまとめて示した。

表1 各国特許制度概要・調査可否

	特許制度概要					特許調査	
	条約・協定 PCT	協定 GCC	公 開 制 度	実 体 審 査	備考	特許調 査の 可否	備考
GCC	○	×	-	○ ※	※ 実体審査はオーストラリア特許庁およびオーストラリア特許庁へ外部委託。	○	出願公開制度はないが、全登録特許の情報が取得可能なため、調査可能。
サウジアラビア	○	○	○	○	※ 2013年6月3日より加盟。	△	KACSTのWebサイトより調査可能だが、収録情報が限定的であり十分な調査は不可能。
UAE	○	○	○	×	※ 実体審査はオーストラリア特許庁へ外部委託。	△	PATENTSCOPEに一部収録あり。
バーレーン	○	○	○	×		△	PATENTSCOPEに一部収録あり。
オマーン	○	○	○	○	※ 実体審査はオーストラリア特許庁、欧州特許庁へ外部委託。	×	特許情報へのアクセスに関する情報は確認できず。
クウェート	○ ※1	×	○	×	※1 2014年12月2日より加盟。 ※2 出願受理のみ行われており、審査・公開・登録といった処理は行われていない。	×	特許情報は公開されておらず調査不可。
カタール	○	○ ※1	○	○	※1 2011年8月3日より加盟。 ※2 2012年8月より出願受け付けを開始しており公開制度もあるが、現時点で公開されたものはごく少数。	×	特許情報はごく少数のみしか公開されておらず調査不可。
イラン	○	○	×	×	※ 2013年10月4日より加盟。	△	トライアル版のWebサイトより調査可能であるが、収録や検索項目が限定的である。

2.1 GCC

2.1.1 特許制度概要

GCC 特許は中東湾岸地域における統一した知的財産制度の構築を目指して導入され、1998年10月3日より出願を行うことができるようになった。加盟国はサウジアラビア、UAE（アラブ首長国連邦）、バーレーン、カタール、クウェート、オマーンの6カ国であり、一つの出願により得られた特許権の効力がこの6カ国に自動的に及ぶものである。特許庁はサウジアラビアのリヤドにある。

PCT（Patent Cooperation Treaty）には未加盟であり、

* なかね としひろ 日本技術貿易株式会社 IP総研
〒105-8408 東京都港区西新橋1-7-13
Tel. 03-6203-9243 (原稿受領 2015.10.9)

PCT 出願において GCC 特許庁を指定することはできないが、パリ条約の優先権を主張した出願が可能である。

GCC 加盟国のうち、クウェートについては出願受理のみ行われており、審査・登録といった処理は実質行われていないため、クウェートで特許権を取得するには GCC 特許出願を利用するのが有効である。

出願公開制度は採用されておらず、実態審査を経て登録となった登録特許のみが公に公開される。したがって、特許調査を実施する場合において、出願公開情報は調査不可であり、登録特許情報のみ調査対象とすることができる。なお、実態審査は GCC 特許庁のみならず、オーストラリア特許庁、オーストラリア特許庁への委託によって行われている。

2.1.2 特許出願状況

図 1 に 1998 年から 2014 年までの GCC 特許出願件数推移²⁾を示す。出願件数は年々増加の傾向にあり、近年は年間約 3000 件弱で推移している。2014 年までの総出願件数は 28628 件となっている。また、90%以上が GCC 加盟国以外からの出願であり、外国からの出願が大多数を占めている。

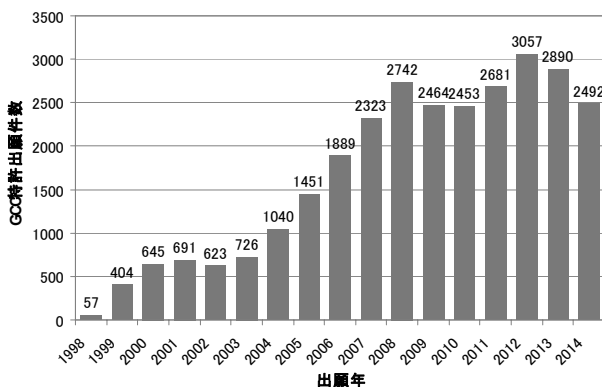


図 1 GCC 特許出願件数推移

一方、登録特許に関しては 2002 年以降、年に 1 回もしくは 2 回程度の頻度で、登録特許のガゼット（特許公報のフロントページのようなもので書誌情報、要約等が掲載されている。）が発行されており、現在（2014 年 9 月 30 日

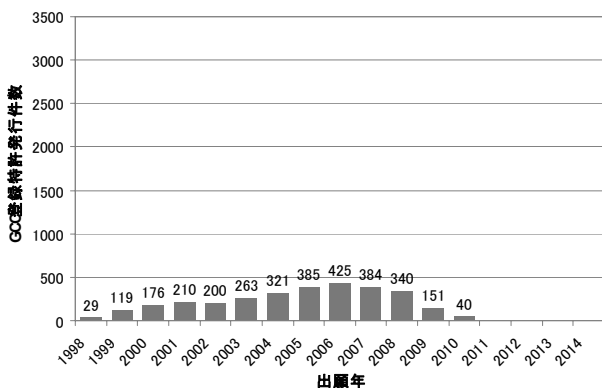


図 2 GCC 登録特許の出願年分布

発行分) までで 3055 件の登録特許が発行されている。発行巻毎にナンバーが付与されており、現在の最新発行分は No.22 である。図 2 に 2002 年から 2015 年までの GCC 登録特許の出願年分布を示す。登録特許は現在でも年 500 件前後の発行数であり、出願件数が増加しているにもかかわらず、審査処理件数はこれを大幅に下回っており、未処理件数が溜まっていることがうかがえる。

2.1.3 調査環境

GCC 登録特許は、esp@cenet（欧州特許庁：<http://worldwide.espacenet.com>）や PatBase（Minesoft 社および RWS グループの共同開発による国際特許調査用データベース）で検索が可能であるが、収録が限定的である点に注意が必要である。esp@cenet では 2007 年 3 月発行分までの 413 件と、2010 年と 2012 年の登録特許が 2 件（GC1271, GC1958）の総計 415 件のみが収録されている。また、PatBase では総計 936 件のみが収録されている（いずれも 2015 年 10 月 4 日時点での検索確認）。

一方で、GCC の全登録特許情報は GCC 特許庁の英語版 Web サイト²⁾から確認することが可能である。図 3 に示すとおり、検索画面には検索項目として、「特許番号 (PatentNo)」「発明の名称 (Title)」「IPC (International Classification / 国際特許分類)」「技術分野 (Scope)」「詳細技術分野 (Specific Scope)」「要約 (Summary)」が用意されている。

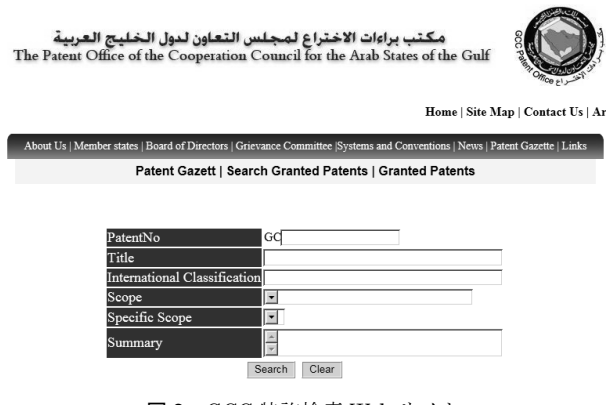


図 3 GCC 特許検索 Web サイト

該 Web サイトでは、GCC 特許についてアラビア語だけでなく英語での収録があるため、「発明の名称」「要約」といったテキスト検索項目について英語での検索が可能である。なお、GCC 特許では全ての登録特許についてアラビア語および英語でのガゼットがそれぞれ発行されている。

「技術分野」「詳細技術分野」については、プルダウン形式で検索したい分野を段階的に絞り込むことが可能である。

「IPC」については特徴的な収録となっており、検索の際には注意が必要であるため、以下にその例を示す。

付与されている IPC : B28B23/02, B28B7/22, E04C/16
記載されている IPC : B28B23/02, 7/22, E04C/16



[12] Patent		記載されているIPC
[11] Patent No.: GC0003000	Number of the Decisions: 14/54590	B28B 7/22
[45] Date of Publishing the Grant of the Patent: 30/09/2014 22/2014	Date of the Decision to Grant the Patent: 17/10/2014	
[21] Application No.: GCC/P/2007/9181	[51] Int. Cl.: B28B 23/02, 7/22; E04C 5/16	B28B 7/22
[22] Filing Date: 29/09/2007	[56] Cited Documents:	
[30] Priority:	- US2979801 A (GASMIRE R. C) 18 April 1961	
[31] Priority No. [32] Priority date [33] State	- GB 681354 A (WHITEHEAD RALPH) 22 October 1952	
102006046311.0 20/09/2006 DE	- DE 1177537 (SIPOREX INT AB) 03 September 1964	
[72] Inventors: 1- Ingo Heeren; 2- Peter Bayer	- JP 9-234725 A (ASAHI CHEMICAL K.K.) 09 September 1997	
[73] Owner: Xella Baustoffe GmbH, Franz-Haniel-Platz 6-8, D-47119, Duisburg, Germany	- JP3-297608 A (ASAHI CHEMICAL K.K.) 27 December 1991	
	- JP 4-12809 A (ASAHI CHEMICAL K.K.) 17 January 1992	
[74] Agent: Suleiman I. Al-Ammar	Examiner: Engr. Mousa'ab Al-Fadhala	

図4 GCC 特許の IPC 記載例

上記のとおり、IPC のサブクラス（先頭のアルファベット 1 文字+数字 2 桁+アルファベット 1 文字の部分。上記例では B28B や E04C がサブクラスに相当する。）が共通する IPC が複数付与されていた場合、2 つ目以降の IPC のサブクラスは省略された形で記載される。GCC 特許検索サイトの IPC 検索の検索機能としては、実際に「記載されている IPC」のとおりにはしか検索できない。したがって、2 つ目に付与されている IPC 「B28B7/22」については、収録上は「7/22」としか記載されていないため、正確に検索することはできない（B28B7/22 を検索しても本件特許はヒットしない。）ので注意が必要である。

また、現在この英語版の GCC 特許検索サイトでは、検索の出力結果からのガゼット PDF へのリンクが切れており、検索結果から直接ガゼットを表示させることができない。ガゼットを確認したい場合には、メニューの「Patent

Gazett」を選択し、該当する発行巻を選択した後、確認したいガゼット番号の HTML のリンクをクリックする必要がある（図 5 参照）。

なお、表示される情報はガゼットまでとなっており、請求項や実施例は表示されない。現時点で Web サイトから請求項や実施例を確認する手段は確認できなかった。

2.2 サウジアラビア

2.2.1 特許制度概要

最近まで PCT には未加盟であったが、2013 年 8 月 3 日より PCT の 147 番目の加盟国となっており、PCT 出願によってサウジアラビアで特許を取得することが可能になった。GCC 特許とは異なり、出願公開制度を採用している。

2.2.2 特許出願状況

サウジアラビア特許出願件数推移（WIPO IP Statistics Data Center のデータに基づき作成）を図 6 に示す。サウジアラビアへの出願件数は 1998 年にピークとなり、2004 年頃まで減少傾向であったが、近年はやや増加傾向にある。1998 年から 2004 年頃までの出願件数の減少については、GCC 特許出願の受付開始およびその増加が主要因と考えられる。また、近年は内国人（サウジアラビアの出願人）による出願件数が増加の傾向にある。

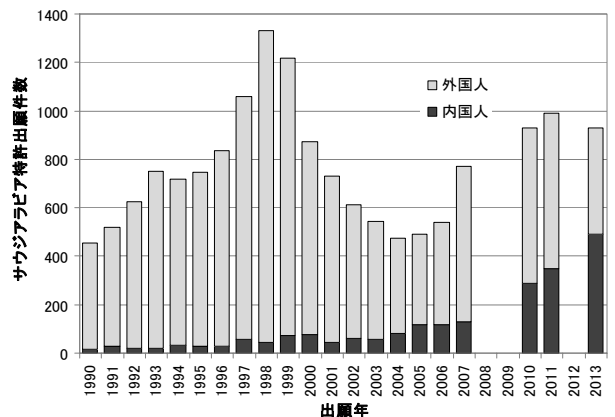


図6 サウジアラビア特許出願件数推移

2.2.3 調査環境

サウジアラビア特許は、KACST (King Abdulaziz City for Science and Technology: サウジアラビアの国立研究開発機関) の提供する Web サイトにて検索、閲覧が可能である。該 Web サイトの検索項目や検索方法については参考文献 4) に紹介されているので、詳しい情報についてはこちらをご参照されたい。

Web サイトには英語版のインターフェースが用意されており、英語での検索が可能であるが、データの収録範囲、収録率、更新状況など不明な点が多く、また、IPC 検索に十分な精度で検索する機能が備わっていない。したがって、特許調査を行うための十分な環境が整備されているとは言い難い状況と認識している。

① Patent Gazette をクリック

② 発行巻の選択

③ 該当発行巻の各ガゼットへのリンク

No	Deposit No	Title	Patent No	Grant Date	Page
1	GCC/P/2006/5707	Process for Cracking a Hydrocarbon Feed Stock Comprising a Heavy Tail	GC0002459	2013/07/07	HTML
2	GCC/P/2003/2754	Converting Oxygenates to Olefins Over A Catalyst Comprising A Cidic Molecular Sieve of Controlled Car	GC0002460	2013/07/15	HTML
3	GCC/P/2008/12587	Ethylene-Based Polymer Compositions, Methods of Making the Same, and Articles Prepared from the Same	GC0002462	2013/07/15	HTML
4	GCC/P/2006/6496	CYCLIC ANILINO - PYRIDINOTRIAZINES	GC0002463	2013/07/17	HTML
5	GCC/P/2007/9239	PROCESS FOR SEPARATING ACRYLIC ACID AND BENZOIC ACID PRESENT IN A PRODUCT GAS MIXTURE OF A PARTIAL	GC0002464	2013/07/17	HTML

図5 GCC ガゼットの入手手段

2.3 UAE

2.3.1 特許制度概要

UAEにおける最初の特許法は1992年に制定され、その後2002年に現行の特許法が制定されている。PCTおよびパリ条約に加盟している。実体審査はオーストリア特許庁へ外部委託しており、出願時には英語の翻訳文が必要となる。出願公開制度は採用していない。実体審査の結果、登録要件を満たしていると判断された特許出願については、特許庁で発行される「Industrial Property Journal」にて公表されるが、この「Industrial Property Journal」について、インターネットでアクセスする方法は確認できていない。

また、最新の動きとして、2015年5月29日より、UAEにおける知的財産に関する各種オフィシャルフィ어의大幅値上げが実施されている。

2.3.2 特許出願状況

3年分のUAE特許出願件数推移(WIPO IP Statistics Data Centerのデータに基づき作成)を図7に示す。UAEの特許出願件数は年々増加傾向にあり、近年は年間1,400件程度の出願となっている。しかしながら、2001年にオーストリア特許庁との審査システムが開発されるまで、審査・処理は行われていなかったため、膨大な量の未処理の出願がUAE特許庁に係属している状況となっている。現地事務所の報告によると最初の特許は2002年7月に付与されているが、現在までに特許付与されたものは1,000件にも満たない。

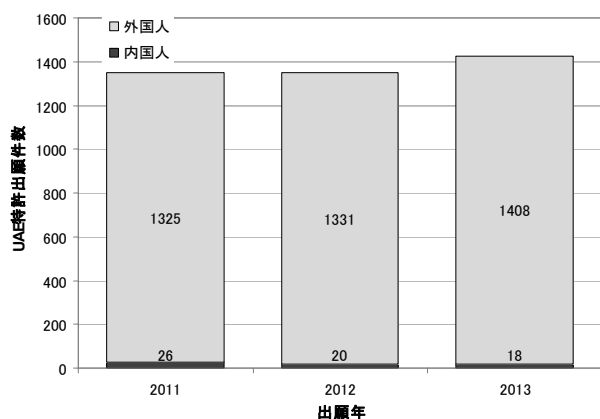


図7 UAE特許出願件数推移

2.3.3 調査環境

UAE登録特許が公表されるという上記「Industrial Property Journal」についてはインターネットでアクセスする方法が確認できておらず、特許検索・調査に利用することはできない。

一方で、WIPO(世界知的所有権機関:World Intellectual Property Organization)が提供する特許検索データベースPATENTSCOPE5)において、UAE特許を対象とした検索が可能である。PATENTSCOPEには、現在340件のUAE登録特許が収録されているが、収録されている特許の最新

の発行日は2013年1月であり、直近の収録は不十分である。

また、UAE特許を独自に整備したインハウスのデータベースを所有しているUAE現地特許事務所に依頼することによって特許調査を実施することが可能であるが、IPCでの検索を行うことができず、キーワード検索も発明の名称のみが対象であり、検索項目が限定的である。

2.4 バーレーン

バーレーンにおける特許出願件数は、2013年で170件、2014年で207件となっている⁶⁾。

出願公開制度は採用しておらず、登録特許情報のみが公開される。バーレーン登録特許はUAE登録特許と同様にPATENTSCOPEから検索することが可能である。PATENTSCOPEには、現在1,411件のバーレーン登録特許が収録されている。ただし、その収録は20年以上前の資料が半数以上を占めており(最も古い資料は1950年代の出願)、また、収録されている特許の最新の発行日は2005年9月であり、直近の収録は不十分である。

2.5 オマーン

2005年より特許出願の受付を開始していたが、2009年まで審査等の手続きは実施されていなかった。2009年10月よりオマーン特許庁は方式審査を開始し、実体審査はオーストリア特許庁または欧州特許庁へ委託されるようになった。また、2014年にはエジプト特許庁と特許の実態審査の協力に関する覚書を締結している。

オマーンにおける特許出願件数や特許情報へのアクセス手段に関する情報は現時点で確認することはできなかった。

2.6 クウェート

2014年12月2日よりパリ条約に加盟し、176番目の加盟国となった。

現在、特許出願は出願の受理のみ行われており、審査・公開・登録といった手続きは実行されていない。したがって、公開されている特許情報はなく、特許情報へのアクセスはできない環境である。

2.7 カタール

2006年にカタール特許法が制定されたものの、施行規則が制定されていなかったため、カタールへの特許出願は受け付けられていなかったが、2012年8月より出願受け付けを開始している。出願公開制度を採用しているが、現時点で公開の手続きがなされたものはごく少数となっている(2015年5月と2015年6月の計2回ガゼットが発行されている)。

2.8 イラン

2.8.1 特許制度概要

最近までPCTには未加盟であったが、2013年10月4

日より PCT の 148 番目の加盟国となっており、PCT 出願によってイランで特許を取得することが可能になった。

出願公開制度は採用されておらず、実態審査を経て登録となった登録特許のみが公に公開される。

2.8.2 特許出願状況

イラン特許出願件数推移 (WIPO IP Statistics Data Center のデータに基づき作成) を図 8 に示す。イランの特許出願件数は 2000 年代前半から急激に増加しており、特に内国人による出願の増加が顕著である。

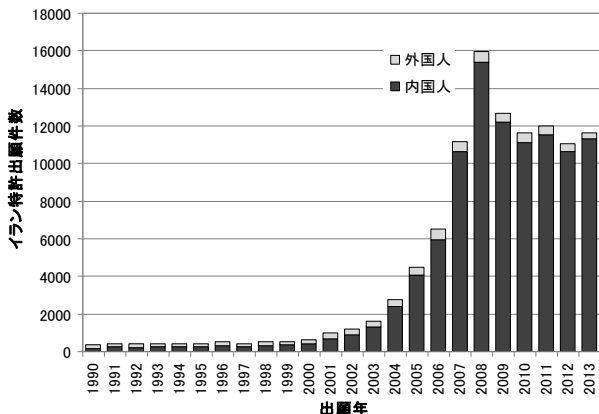


図 8 イラン特許出願件数推移

2.8.3 調査環境

イランでは、最近までオンラインのデータベースは無く、また、特許情報を公表するためのガゼット等も発行されていなかった。唯一、「Iranian Official Journal」に特許情報が掲載されるが、「Iranian Official Journal」には企業登録や商標登録、遺言など特許情報以外の様々な情報が掲載されており、特許情報を的確に抽出することは困難である。ペルシア語のみでの掲載であり、さらに、IPC が掲載されていない等、情報の不足もある。

なお、イラン特許庁内にはイラン特許検索データベースが用意されているが、審査官専用で審査官以外が利用することは出来ない。

最近になってイラン特許庁はトライアルバージョンではあるが一般にアクセス可能なオンライン特許検索 Web サイトの提供を開始している (図 9)⁷⁾。留意点は以下のとおりである⁸⁾。

- ペルシア語のインターフェースのみの提供で英語版は



図 9 イラン特許検索 Web サイト

ない。

- 全文明細書へのリンクも用意されているが、ほとんどの特許でそのリンクは有効になっていない。
- 特許情報の収録が限定的である (直近 2 年程度の特許情報のみ収録)。

3. GCC 特許動向詳細分析

本章では中東湾岸諸国における特許出願状況を俯瞰するために GCC 登録特許 (全 3055 件) を対象に、権利者や技術分野の傾向について分析を行っている。

3.1 権利者ランキング

GCC 登録特許の権利者ランキングを表 2 に示す。権利者の上位は石油関連企業がその大半を占めている様子が分かる。Shell 社をはじめ Exxon Mobil 社、BP 社といった石油メジャーが権利者ランキング上位に名を連ねており、産油地域の特色が出ている。

表 2 GCC 特許権利者ランキング

権利者	関連業種	件数
Shell Intenationale Research	石油化学	297
ExxonMobil	石油化学	187
Schlumberger	石油化学	111
F. Hoffmann-La Roche	製薬	100
SABIC	石油化学	95
GlaxoSmithKline	製薬	70
Chevron	石油化学	68
BP	石油化学	55
SASOL	石油化学	48
BASF	化学	45
INEOS	化学	40
Pfizer	製薬	33
Dow Global Technologies	化学	26
Baker Hughes	石油化学	25
Janssen Pharmaceutica	製薬	25
Basell Poliolefine	化学	23
Methanol Casale	化学	23
Fisher Controls International	バルブ	21
Sanofi - Aventis Pharma	製薬	19
ALSTOM	エネルギー・運輸	19

3.2 技術分野

表 3 に技術分野別 (IPC セクション) の発行件数、表 4 に技術分野別 (IPC サブクラス) ランキングを示す。技術分野別 (IPC) で見ても、地域特色が色濃く出ており、石油化学関連 (C07C 等) や地中掘削関連 (E21B) の技術内容が多く見られる。その他の分野では、日米欧などの主要国で出願割合の高い G セクション (物理) や H セクシ

表 3 技術分野別 (IPC セクション) の発行件数

IPC (セクション)	件数	
Aセクション	生活必需品	431
Bセクション	処理操作; 運輸	767
Cセクション	化学; 冶金	1609
Dセクション	繊維; 紙	10
Eセクション	固定構造物	476
Fセクション	機械工学; 照明; 加熱; 武器; 爆破	353
Gセクション	物理学	286
Hセクション	電気	80

表4 技術分野別 (IPC サブクラス) ランキング

IPC(サブクラス)	件数
C07C 非環式化合物または炭素環式化合物	543
B01J 化学的または物理的方法	416
E21B 地中もしくは岩石の削孔; 探掘井からの石油, ガス, 水, 溶解性または…	372
C07D 複素環式化合物	342
A61K 医薬用, 歯科用又は化粧品用製剤	298
C10G 炭化水素油の分解; 液体炭化水素混合物の製造, ポリメリゼーション…	220
A61P 化合物または医薬組成物の治療活性	174
C08F 炭素-炭素不飽和結合のみが関与する反応によってえられる高分子化合物	169
B01D 分離	141
G01V 地球物理; 重力測定; 塊状物または対象物の検出; タグ	137

ン (電気) についての割合は低い状況にある。

なお, IPC の付与状況に関して, 直近に発行された 2000 件を対象に IPC 付与件数を確認したところ平均 2.7 個となっている。

4. おわりに

本稿では, 中東湾岸諸国, 特に GCC およびその加盟国

とイランの特許制度および特許情報を整理し, 各国の出願状況や特許調査環境の整備状況を明らかにした。また, GCC の全発行特許を対象に詳細分析を行うことで, GCC 特許における出願人や技術内容の傾向を明らかにした。

地域的な特性や言語の問題も加わり, 中東湾岸諸国の特許情報を適切に収集することは簡単ではない状況であるが, 中東の特許情報へアクセスを試みる際に, 本稿が何らかの助けになれば幸いである。

参考文献

- 1) 中根寿浩. 中東における特許出願の現状と傾向. 日本知財学会年次学術研究発表会 (CD-ROM). 2010, 8th, 2H6
- 2) GCC 特許検索 Web サイト (英語版)
<http://www.gccpo.org/GrantSearchEn.aspx> [accessed 2015-10-05]
- 3) WIPO IP Statistics Data Center
<http://ipstats.wipo.int/ipstatv2/> [accessed 2015-10-05]
- 4) 芳賀恵. たまに使う各国特許庁 Web サイトの紹介: サウジアラビア編. 2012, 62 巻 7 号, p.308-311
- 5) PATENTSCOPE
<http://www.wipo.int/patentscope/en/> [accessed 2015-10-05]
- 6) バーレーン工業所有権庁 アニュアルレポート
<http://www.moic.gov.bh/En/Commerce/ForeignTrade/IndustrialPropertyDirectorate/AnnualReport/Pages/Annual%20Report.aspx> [accessed 2015-10-05]
- 7) イラン特許検索 Web サイト
<http://ip.ssaa.ir/Patent/Search.aspx> [accessed 2015-10-05]
- 8) Seyed Kamran Bagheri. Facilitated access to Iranian patent information. World Patent Information(2014). 2014, vol.37, p.43-47

Special feature: Scholarly Information in the Middle East. Patent information in the Middle East. Toshihiro NAKANE (IP Research Institute, NGB Corporation, 7-13, Nishi-Shimbashi 1-chome, Minato-ku, TOKYO 105-8408 JAPAN)

Abstract: This article gives a general overview of patent system, recent trends of patent application, and patent search environment in the Middle Eastern countries, especially in GCC (Gulf Cooperation Council), Saudi Arabia, UAE(United Arab Emirates), Bahrain, Qatar, Kuwait, and Oman, and Iran. The accessibility to patent information of each country is not good except for GCC. The environment to conduct an accurate patent search is not prepared in these countries; however, this article introduces some websites to access patent information currently available. It also introduces a trend of granted patent in GCC by analyzing patent holders and technical fields.

Keywords: Middle East / GCC / Saudi Arabia / UAE / Iran / patent information / patent search / database